

平成30年度における市民活動サポートセンター主催の事業【案】

	タイトル（内容）	現 状	課 題	目 的	期待される効果
講演会	市民や市民公益活動団体による講演会（サポートセンター 共催）	・サポートセンターが、市民や団体が必要と考える内容を企画し開催	・団体が求めている内容と相違している ・参加者が少なく、又、特定の人の参加となっている	・各団体が必要と感じているテーマで自ら開催することにより、同じ課題を持つ団体と意識共有を図る	・他の団体と課題の共有ができ、課題解決へとつながる ・団体目線での講演により、参加者増につながる
人材	市民が、市民活動・ボランティアに参加するきっかけ作り	・市民活動への参加者が少ない	・参加する意欲はあるが、行動に移せない。 ・団体メンバーの高齢化や人材確保が難しい現状で活動の継続が困難となってきたいる。	・市民活動をしていない人へのきっかけ作り ・若い世代や退職者世代を市民活動に巻き込む ・団体の人材確保	・市民の市民活動参加が増える ・団体の活動が継続される ・団体の人材が確保されることにより、団体活動が継続される
意見交換会	様々な団体との交流機会の創出	・団体間の交流の場がない	・交流する機会が少ないことから、情報や 課題の共有が出来ず、活動が行き詰っている団体がある	・様々な団体と交流し、情報交換することにより、団体が抱える課題を解決する糸口を見つける	・顔の見える交流をすることにより、活動の幅が広がり、協働への事業実施に繋がる ・他団体が、違う視点で課題を発見することができる ・団体同士での繋がりができ、活動していくうえで、活動の幅が広がる
活動発表会	みずしろフェスタの継続開催	・11月に開催（時代まつりと同日開催） ・コミュニティセンターみずしろの1階ギャラリーでの開催 ・固定した団体しか出展しない	・出展団体の固定化 ・出展団体の減少及び来場者数の伸び悩み	・フェスタの認知度の向上による参加団体の増加 ・市民活動の認知度の向上	・団体同士の交流が図られ、活動の幅が広がる ・コミセンみずしろが多くくの団体に利用され、利用率があがる ・市民が市民活動を知る機会が増え、市民活動が更に活発になる
	活動報告会	・平成30年2月に第6回市民活動講演会「いきいきボランティア講座」の後、5団体の活動報告会を開催 ①特定非営利活動法人 行田結婚支援センター ②特定非営利活動法人 ふるさと創生クラブ ③行田観光ボランティア会 ④行田ゼリーフライ研究会 ⑤行田外国語観光ボランティア会	・活動を知る機会がなく、又、はじめるきっかけが出来ない	・活動を知ってもらうことにより、市民への活動を始める足がかりを作る	・色々な人と共通認識を持つことができる ・他団体の活動を知ることにより自分達の活動の幅が広がる ・活動を知ることにより、団体に参加し、市民活動が活発になる ・活動を知ってもらうことにより、活動へのモチベーションアップへとつながる
情報の収集と発信	団体やイベント情報の発信	・サポセン通信の発信 ・イベントのチラシ及びポスターの掲出	・サポセンの認知度が低いため、サポセンにチラシやポスターを掲出しても周知に繋がらない	・サポートセンターの認知度向上及び市内活動団体やイベントのアピールの場の検討	・多くの人に目に触れることにより、イベントの参加者が増え団体のモチベーションアップにつながるとともに、サポセンの認知度もあがる